

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		18-	10
事業名	郷土資料館経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	5
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-2	文化のかおるまちをつくる	係名	生涯学習係	
	3-2-1	多様な文化・芸術活動の支援			
主要施策	③文化財の保存・活用				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民、町内の文化財	目的 (対象がどのような状態になっているか)	資料館を見学することを通じて町民に郷土の歴史を知ってもらい、その中で郷土愛を育み、誇りをもち、まちづくりの意識を向上させる。
事業内容	町内の郷土資料の収集・保存・展示を行う。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
指標	1	郷土資料館への入館者数		118	13	人	↑	100	
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					4,191		419	549	
財源内訳	直接事業費 A				4,191		89	219	
	うち一般財源				4,191		89	219	
人件費(千円) B					0		330	330	
内訳	一般職員(人・千円)				0	0.05	330	0.05	330
	臨時職員(人・千円)				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業を拡充して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	平成30年度は見学者数が大きく減少した。
②H30年度に実施した取り組み	資料展示を通じて、町民に昔の暮らしや郷土の歴史について知ってもらう機会を提供した。	④今後の改善計画	学校に授業の一環として見学を促すとともに、資料館のPRを強化する。